

## 1 はじめに

昨年度、郡内約半数の学校の情報教育機器の入れ替えが行われた。ICT機器の充実とともに教職員による活用が課題となっている。また、タブレット端末についても導入が前向きに検討され、それに先駆けて教職員向けにタブレット端末操作研修が実施された。

## 2 実践報告

「タブレット端末講習会」

ア 日 時 平成27年8月19日（水） 10:30～ 14:00～  
8月20日（木） 13:00～

イ 場 所 久万町民館

ウ 対 象 町内全教職員

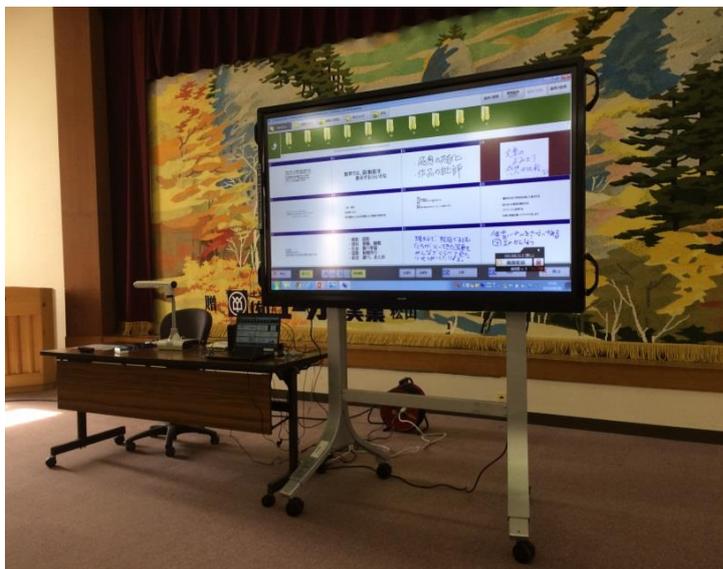
エ 内 容

「タブレット端末と電子黒板を活用した実技研修」

講師 パイオニアVC 大谷 達也様

活用ソフトウェア「Master Sync」

- ・ 各タブレット端末を無線LAN環境下に設定し、その画面管理及び教材の配布・回収ができるのが「Master Sync」というソフトウェアである。
- ・ 学習者のタブレット端末には「TabletSync」というアプリのインストールが必要となる。
- ・ 授業イメージとして、教師用コンピュータから教材を配布する。児童用のタブレット端末に教材が提示される。アプリ上のツール（手書き・文字等の入力）を活用して考えや回答を入力していく。入力が完了したら、送信をタップする。送信されたデータ（児童画面）は教師用の「Master Sync」にて表示される。そこでは一覧で表示したり、2画面や3画面で比較したりすることができる。



## 3 今後の課題

無線LAN・タブレット端末・電子黒板が組み合わされることで、授業での活用の幅が一層広がる。こういった実技研修を行うことで、教職員がICT機器に触れ、イメージをもつことができる有意義な研修となった。しかし一方で、導入するには予算が必要となり、同様のソフトウェア及びアプリを比較検討し、より使いやすく、授業での学習効果が上がると考えられるものを早期に導入できればと感じた。また、教職員がタブレット端末の操作ができて、授業での活用イメージがわきにくいという問題もある。実際の授業活用を参観したり、研修したりできることが次への課題となった。